

7 - 5 北陸 - 近畿および近畿 - 山陰地殻活動総合観測線における地殻変動連続観測結果 (2002 年 5 月 ~ 2003 年 4 月)

Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki and Hokuriku District.(Preliminary Report ; May 1, 2002-Apr. 30, 2002)

京都大学防災研究所 地震予知研究センター

Research Center for Earthquake Prediction,

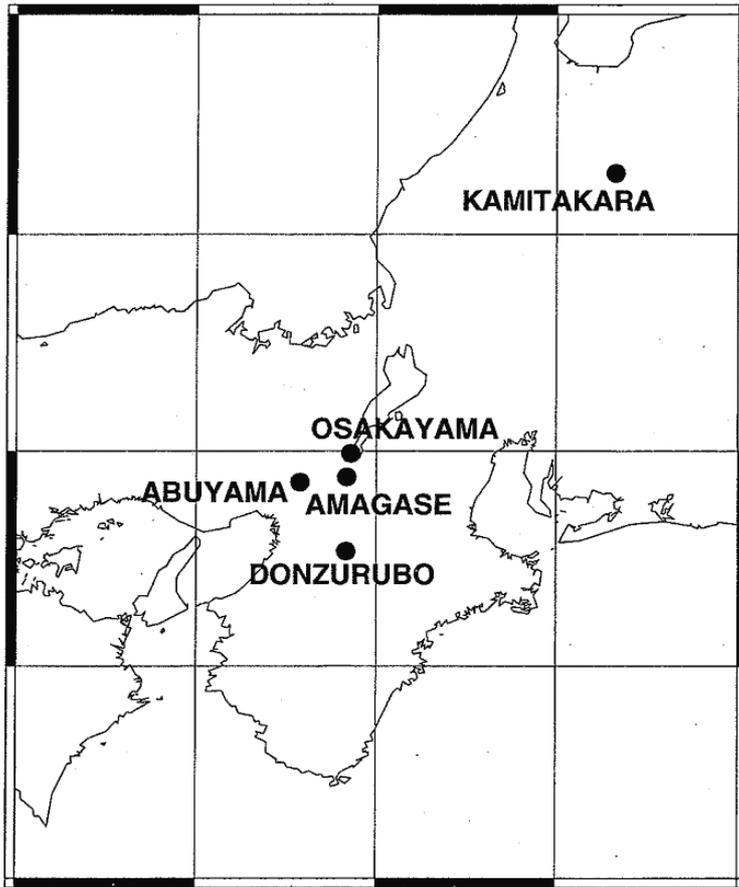
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

北陸 - 近畿および近畿 - 山陰の両地殻活動総合観測線を構成する観測点のうちから、第 1 図に示す上宝蔵柱、阿武山、逢坂山、天ヶ瀬、屯鶴峯の 5 点で観測された最近 1 年間 (2002 年 5 月 ~ 2003 年 4 月) の地殻ひずみ変化と降水量を第 2 図から第 4 図に示す。上宝蔵柱では傾斜変化も、また逢坂山では観測坑道内の孔井で測定している地下水位を示す。プロット値は時間値であり、降水量は 0 時 ~ 24 時の日雨量である。

この期間に付近で発生した地震としては、前報で一部は既報であるが、9 月 4 日と 11 月 19 日に滋賀県北部で M4.1 と 4.2 (深さは 9 月 50km, 11 月は 10km), 7 月 16 日に京都府南部の M4.0 などだが、連続観測記録上にはこれらに関連して特に記述すべき現象は起こっていない。奈良県や和歌山県でも地震活動は活発であったが本報の範囲で最近接の屯鶴峯観測所でも影響を述べる距離・マグニチュードではない。

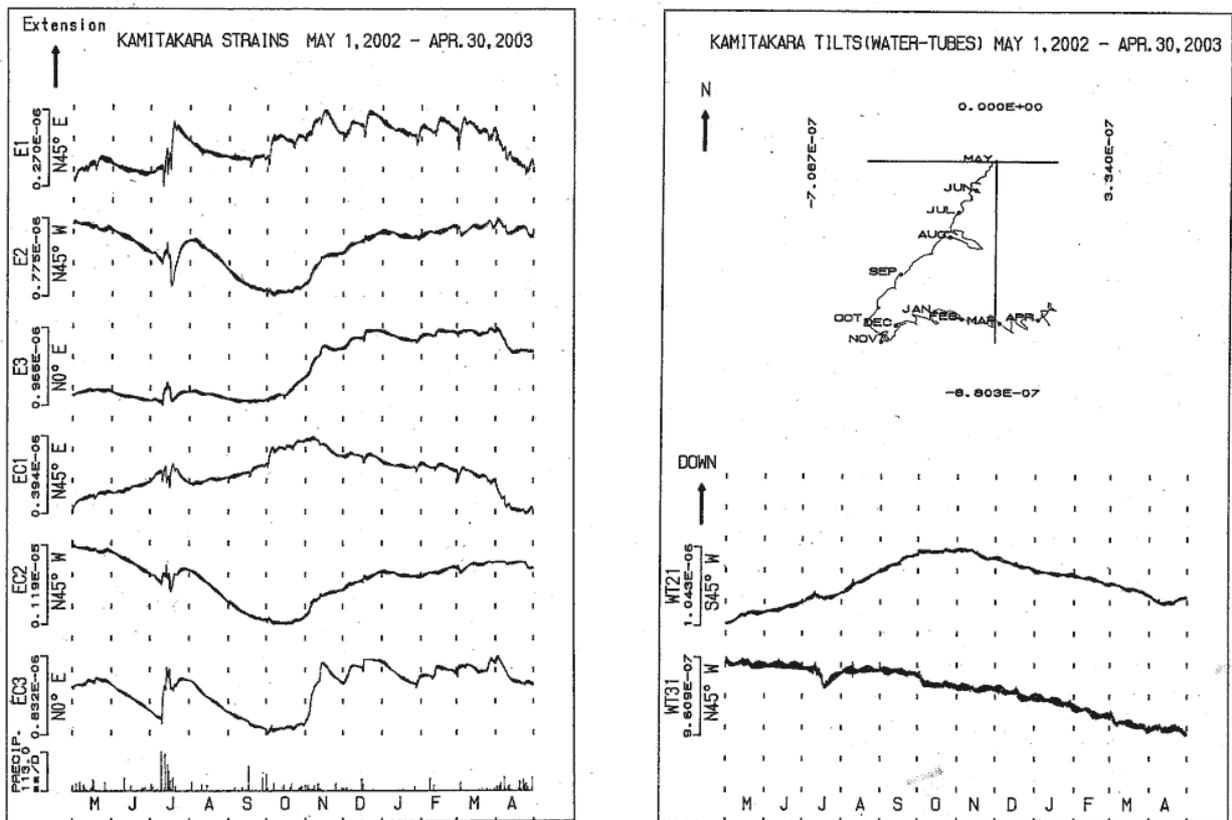
近畿の各点では本年 2-3 月に変曲点が見られる成分が多い。これは降雨の影響と見られるが、降水量は平年値に近く寡雨傾向にあった昨年とは特に北西方向の成分でセンスが異なっているものが見られる。

(大谷文夫)



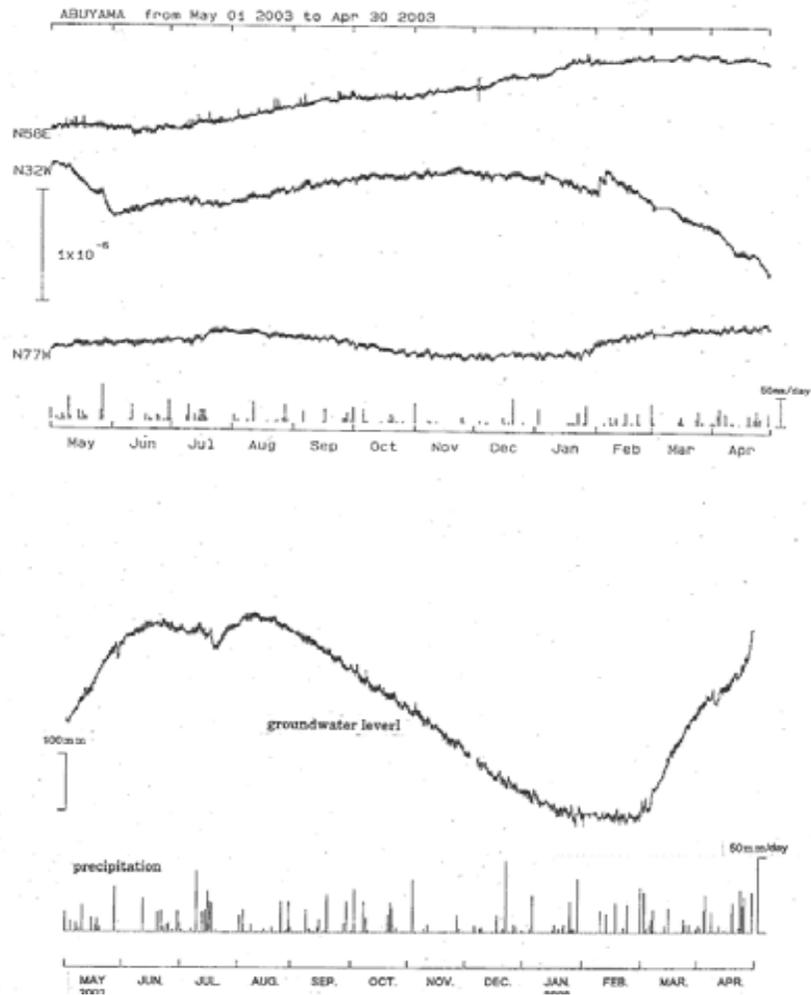
第1図 観測点の位置図

Fig.1 Observation stations.



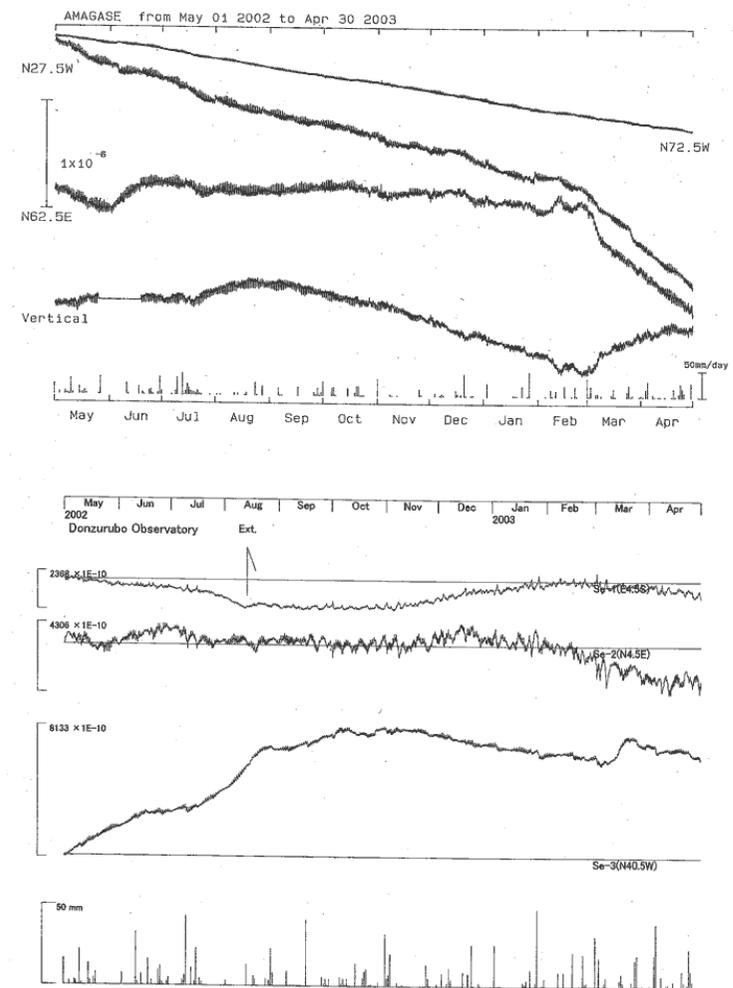
第2図 上宝観測所蔵柱観測室におけるひずみ・傾斜変化と日雨量 (2002年5月~2003年4月)

Fig.2 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Kurabashira station of Kamitakara observatory. (May 1, 2002 - Apr. 30, 2002)



第3図 阿武山観測所におけるひずみ変化、降水量と逢坂山観測所における地下水位、降水量（2002年5月～2003年4月）

Fig.3 Strain changes at Abuyama observatory and groundwater level at Osakayama observatory with daily precipitation at both observatories (May 1, 2002 - Apr. 30, 2002)



第4図 天ヶ瀬観測室におけるひずみ変化、降水量と屯鶴峯観測所におけるひずみ変化、降水量（2002年5月～2003年4月）

Fig.4 Strain changes and daily precipitation at Amagase and Donzurubo observatory. (May 1, 2002 - Apr. 30, 2002)